

宗秋月さん追悼

詩の朗読と身体表現の集い

2011年7月22日(金) 午後7時～

於・メタモルホール(劇団態変・稽古場)

東淀川区西淡路1丁目15-15(JR京都線・東淀川駅・東口 歩2分)

在日でしか書けないことばで、面白くも悲しい物語をつむぎエネルギーに書き・生きた詩人、宗秋月。いのちの猥雑と、それを引き受けてなお前に出て行くいのちの意志と、天に祈り天をも刺し貫こうという強烈な願いを、在日ならではのことばに込めた詩人、宗秋月さんが4月23日に亡くなりました。宗秋月さんの生きざま、宗秋月さんの語ったもの、宗秋月さんの語ろうとして語りつくせなかった思い……それは、なんだったろうか!?

そこからわたしたちにつながってくる“紅い糸”とは何だろうか。

宗秋月がもしわたしたちに何ごとかを託して逝ったのだとすれば、託されたものはなにか?

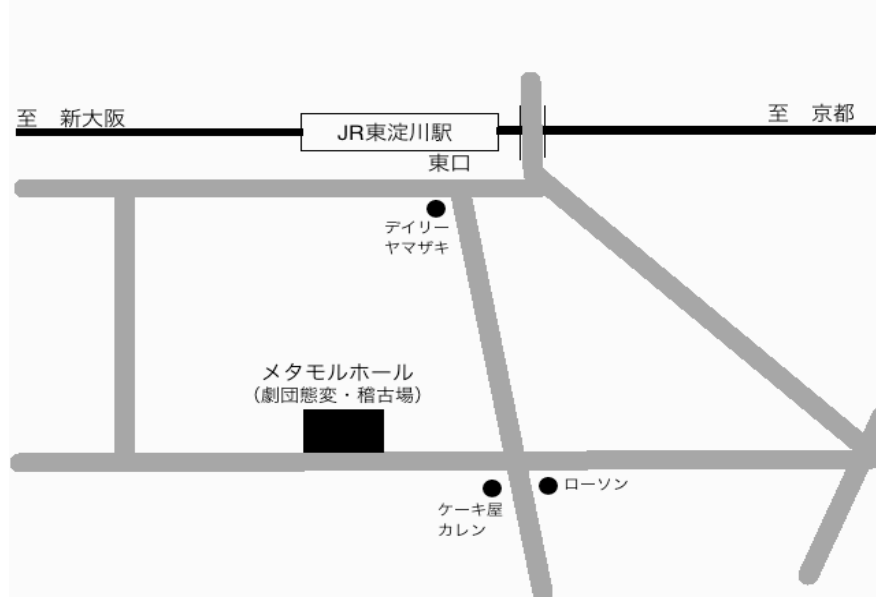
その詩をともに読み・聞きながら、あらためてこの稀有な詩人・隣人の生きた時代・生きた思いを偲びたいと思う。

宗秋月さんは劇団態変とも縁のある方で、1987年の『カイゴ・香異湖・Kaigo!』生野公演に出演した、故フサさんの義理のお姉さんに当たります。

心をこめて、劇団態変は宗秋月にどんな挨拶をおくるのか。

この集いでは、詩の朗読を中心に、身体表現や音楽による詩人・宗秋月へのコラボレーションをはじめ“芸術中心”で、わたしたちなりに独自に“偲ぶ”を表わしたいと思います。

マッコリを呑み、チヂミや蒸し豚を味わいながら、宗秋月さんの詩をいっしょに堪能してみませんか?



参加カンパ 500円

主催：イマージュ 協力：劇団態変韓国公演を共に実現する会

問い合わせ：06-6320-0344 e-mail: taihen.japan@gmail.com